

2020年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 刈谷商工会議所

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価													備考		
				目標①			目標②			得られた効果	A B C D評価					今後の展開・改善点等			
				指標	実績数値	達成度	指標	実績数値	達成度		自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	目標②			
巡回・窓口相談指導事業	管内小規模事業者等に対し、巡回相談指導や窓口相談指導を通して、自助努力だけでは克服し得ないような様々な課題を解決するため、関係官公庁並びに各種団体等と連携を図りながら経営改善普及事業を実施する。	巡回指導 実企業145（うち非会員33） 延企業195（うち非会員34） 窓口指導 実企業595（うち非会員141） 延企業1607（うち非会員219） 創業37 ・巡回窓口指導延件数1,802件 ・課題解決提案件数 119件	小規模事業者	指標	巡回窓口指導延件数 (達成度 176.7 %)	指標	課題解決提案件数 (達成度 238.0 %)	新型コロナウイルス対策特別支援窓口を設置し、「給付金」「補助金」「融資」などの相談対応を行い、小規模事業者の経営改善の手助けができた。	総合評価	A	事業実施側の自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	今後も引き続き小規模事業者の経営改善を目的に、巡回・窓口指導を行う。		
記帳継続指導	東海税理士会刈谷支部の協力を得て、記帳から決算及び申告までの一切の実務について継続的に分かりやすく指導し、自主記帳能力を養成する。	・指導事業者数15件 ・指導日数 136日 ・指導回数 138回	小規模事業者	指標	指導事業者数 (達成度 50.0 %)	指標	(達成度 %)	新規青色申告者などに対して、記帳から決算および申告までを指導することにより、自主記帳能力の養成に寄与できた。	総合評価	B	事業実施側の自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	今後も引き続き新規青色申告者などの自主記帳能力養成を目的に、記帳継続指導を行う。		
講習会事業	多様化する経営環境に対応するため、地域の中小・小規模事業者等にとって必要な知識・技術を習得させるほか、時事的な問題の啓蒙を図る。	講習会開催回数及び参加者数 ・集団指導30回 130名 (内、経営革新 1回 2名) ・個別指導48回 558名 計 78回 688名	小規模事業者	指標	集団指導延参加者数 (達成度 104.0 %)	指標	個別指導延参加者数 (達成度 89.1 %)	オンラインの活用や、感染対策によって、時宜を得たテーマの集団および個別指導の実施により、コロナ禍における経営の一助となった。	総合評価	A	事業実施側の自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	今後も引き続き小規模事業者の経営課題解決に資する、講習会事業を行う。		
若手後継者等育成事業	中小・小規模企業の若手経営者、後継者及び女性経営者等の自己研鑽、啓蒙活動を通じて、資質向上を図り、企業及び地域社会の発展を図る。	・定期総会 ・理事会等 ・指導者資質向上対策講習会(実施事業合計数：34回) ※合同公開講演会は新型コロナウイルス感染症による中止	管内中小・小規模事業者等を中心とする青年部員・女性会会員	指標	実施事業合計数 (達成度 147.8 %)	指標	(達成度 %)	青年部・女性会とともに、コロナ禍の活動として、オンライン講習による勉強会を通じて自己研鑽に努め、持続的経営の一助となった。	総合評価	A	事業実施側の自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	コロナの影響を考慮して目標を下げるが、今後も引き続き青年部・女性会の自己研鑽・地域貢献を目的に、若手後継者等育成事業を行う。		
地域産業祭事業	地域の経済活動と振興を図るため、刈谷市・刈谷商工会議所の両者が主催となり、刈谷市観光協会などの後援も受け、刈谷産業まつりを開催する。	新型コロナウイルス感染症による中止	碧海地域の中小・小規模企業者等	指標	来場者数（刈谷市発表） (達成度 - %)	指標	(達成度 %)	新型コロナウイルス感染症による中止	総合評価	-	事業実施側の自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	今後も引き続き社会貢献活動を目的に、地域産業祭事業を行う。		
商店街振興事業	個人消費の拡大及び販売促進に結びつく事業として、刈谷市・刈谷市商店街連盟との連携を軸に、「かりや商業まつり」等を開催する。	・かりや商業まつり 120店 ・プレミアム商品券589店 (参加店舗合計：709店) ※かりやビジネス創造塾事業は新型コロナウイルス感染症による中止	管内中小・小規模事業者等	指標	参加店舗合計 (達成度 472.7 %)	指標	(達成度 %)	新型コロナウイルスの影響を受けている商店や飲食店等を支援するため、「かりや商業まつり」や「プレミアム商品券」事業を実施し、消費喚起・商業活性化に寄与した。	総合評価	A	事業実施側の自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	コロナの影響を考慮して目標を下げるが、今後も引き続き参加事業者の販売促進などを目的に、商店街振興事業を行う。		
街づくり事業	刈谷市の進める中心市街地のまちづくりに対する基本的な方向について、提言活動を行うとともに、地域生活者の観点に立ち、住みやすく歩いて楽しい生活空間づくりを行う。	・都心交流エリアワークショップ(7回)・福祉交流エリアワークショップ(5回)・かりや商大(13講座) (合計開催回数25回) ※かりや商大は17講座を予定していたが、4講座は新型コロナウイルス感染症による中止	管内中小・小規模事業者等	指標	開催回数 (達成度 73.5 %)	指標	(達成度 %)	「かりや商大」では、事業者が講師となって市民向けの講座を開催することで、事業者の魅力の発信につながった。	総合評価	B	事業実施側の自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	コロナの影響を考慮して目標を下げるが、今後も引き続き市街地の賑わい創出を目的に、街づくり事業を行う。		
地域産業活性化事業（創業人材育成事業）	新規開業の促進・地域雇用機会の創出等を行うことにより、地域経済の活性化を図る。	創業スクール開催 (1回 参加人数22名) 創業支援セミナー開催 (1回 参加人数9名)	創業希望者等	指標	参加人数 (達成度 310.0 %)	指標	(達成度 %)	創業予定者を対象とした創業スクールの開催し、創業者のビジネスプランの作成を支援することで、創業に向けた準備に寄与した。	総合評価	A	事業実施側の自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	今後も引き続き創業希望者の創業支援を目的に、創業人材育成事業を行う。		
商談会事業	ビジネスマッチング事業を実施し、企業交流の場の提供、ビジネスチャンスの創出等により、地域の中小・小規模事業者等の経営の発展と安定に寄与する。	アライアンス・パートナー発掘市参加企業数 5社 (参加企業合計数：5社) ※三河・知多地域商談会は新型コロナウイルス感染症による中止	管内中小・小規模事業者等	指標	参加企業合計数 (達成度 33.3 %)	指標	(達成度 %)	今回はアライアンス・パートナー発掘市をオンラインで開催。ビジネスチャンスの創出及び有益な情報交換に貢献できた。	総合評価	B	事業実施側の自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	今後も引き続きビジネスチャンス創出などを目的に、商談会事業を行う。		
雇用促進事業	優秀な人材の確保による企業の繁栄、さらには地域経済の発展に寄与することを目的とする。	・理工系大学教授等との情報交換会(10社) ・企業合同説明会西三河地区合同(18社)刈谷工業高校(23社)知立高校(15社)高浜高校(15社) ・優良従業員表彰(59社) (参加企業合計数：延140社) ※刈谷合同就職フェアは新型コロナウイルス感染症による中止	管内中小・小規模事業者等	指標	参加企業合計数 (達成度 140.0 %)	指標	(達成度 %)	コロナ禍における採用活動を後押しするため、オンラインの活用や感染対策によって、合同企業説明会を開催し、企業の雇用確保に貢献することができた。	総合評価	A	事業実施側の自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	今後も引き続き企業の雇用確保などを目的に、雇用促進事業を行う。		
青年部・女性会事業	会員相互の親睦と信頼関係を構築する行事を行うことにより、組織の強化育成並びに事業活動の円滑な運営が図られるとともに、地域社会の発展に寄与する。	例会等（合計3回）	管内中小・小規模事業者等を中心とする青年部員・女性会会員	指標	実施事業合計数 (達成度 25.0 %)	指標	(達成度 %)	テイクアウトやデリバリーに対応している店舗を紹介するサイトの開設や食中毒注意喚起ステッカーの作成などを通じて、刈谷の飲食店支援に貢献した。	総合評価	B	事業実施側の自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	今後も引き続き企業の青年部・女性会の会員相互の親睦などを目的に、青年部・女性会事業を行う。		

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付すこと。

2020年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 刈谷商工会議所

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価												備考							
				目標①			目標②			得られた効果			A B C D評価				今後の展開・改善点等						
部会・委員会事業	部会事業は、異業種交流の場として経営に役立つ様々な事業を展開する。委員会事業は、国や県、刈谷市が実施している中小企業対策や地域振興策などの事業に対して意見集約や政策提言活動等を行い、地域経済社会の振興に資する。	・工業第一・二部会、商業第一・二部会、サービス第一・二部会の事業（計18回）・部会長会議（1回）・運営委員会（1回）、中小企業活性化委員会（2回）の開催（合計22回）	管内中小・小規模事業者等	指標	開催回数合計 (達成度 146.7 %)			指標	(達成度 %)			部会で開催予定の視察研修は、新型コロナウイルスの影響により中止。代わりとして、感染の注意喚起用のぼり旗を安価で提供し、各事業所の掲示によってコロナ感染抑制の喚起に貢献できた。	総合評価	A	事業評価側	自己評価	調査結果	事業者への	満足度	補足	目標①	目標②	今後も引き続き経営向上などを目的に、部会・委員会事業を行う。
				目標数値	15	実績数値	22	目標数値	実績数値	A	A					必要性			実施方法①		実施方法②	現行どおり	
福利厚生事業	各種共済制度の普及拡大を図ることにより、企業の健全な育成に資する。	・共済事務処理、共済推進会議への出席、巡回指導・窓口指導等による普及拡大（共済制度加入事業所数：662事業所） ・健康診断実施	管内中小・小規模事業者等	指標	共済制度加入事業所数 (プレミアム共済) (達成度 101.8 %)			指標	(達成度 %)			企業の経営者及び従業員等に対する福利厚生として各種共済制度への加入により、経営と雇用の安定を図った。	総合評価	A	事業評価側	自己評価	調査結果	事業者への	満足度	補足	目標①	目標②	コロナの影響を考慮して目標を下げるが、今後も引き続き経営者及び従業員等に対する福利厚生に資する目的に、福利厚生事業を行う。
				目標数値	650	実績数値	662	目標数値	実績数値	A	A					必要性			実施方法①		実施方法②	現行どおり	
労働保険事業	中小・小規模事業者の事務処理の負担を軽減するほか、労働保険の適正な加入促進及び労働保険料の適正な徴収（納付）を図る。	・労働保険事務組合業務全般（指導事業所件数：198件） ・労働保険事務組合連合会等会議 ・研修会等に参加	管内中小・小規模事業者等	指標	指導事業所件数（事務組合員数） (達成度 146.7 %)			指標	(達成度 %)			中小・小規模企業者の事務処理の軽減を図り、労働力の安定的確保並びに労働条件の向上を図ることができた。	総合評価	A	事業評価側	自己評価	調査結果	事業者への	満足度	補足	目標①	目標②	今後も引き続き企業の労働保険の事務処理軽減目的に、労働保険事業を行う。
				目標数値	135	実績数値	198	目標数値	実績数値	A	A					必要性			実施方法①		実施方法②	現行どおり	
税務関係団体指導事業	中小・小規模事業者を始めとする経営者等に正しい税知識を周知するほか、納税意識の高揚を図る。	刈谷青色申告会、刈谷青色申告会連合会、（公社）刈谷法人会、（公社）刈谷法人会刈谷支部等総会・役員会等への出席（事業実施回数：13回）	管内中小・小規模事業者等	指標	事業実施回数合計 (達成度 130.0 %)			指標	(達成度 %)			刈谷税務署や東海税理士会の協力を得て、e-Taxに係る個別相談会などを通じて、事業者の電子申告の普及に貢献できた。	総合評価	A	事業評価側	自己評価	調査結果	事業者への	満足度	補足	目標①	目標②	今後も引き続き正しい税知識等の普及を目的に、税務関係団体指導事業を行う。
				目標数値	10	実績数値	13	目標数値	実績数値	A	A					必要性			実施方法①		実施方法②	現行どおり	
産業団体等指導事業	労働法令の普及により、従業員の労働条件、労働安全衛生等の維持・向上さらには商工業の活性化に寄与する。	刈谷労働基準協会の事業運営のサポート（構成員事業所数：299事業所）	小規模事業者を始めとする団体の会員	指標	構成員事業所数 (達成度 103.1 %)			指標	(達成度 %)			雇用促進や労働災害防止に関する講習会を相談所と共催するなど、コロナ禍における企業活動支援に貢献できた。	総合評価	A	事業評価側	自己評価	調査結果	事業者への	満足度	補足	目標①	目標②	今後も引き続き企業の体質改善、従業員等の労働条件等の向上を目的に、産業団体等指導事業を行う。
				目標数値	290	実績数値	299	目標数値	実績数値	A	A					必要性			実施方法①		実施方法②	現行どおり	
地域振興祭事業	刈谷わんさか祭りは、ステージショーとともに、市内飲食業者等が出店する店舗があるなど市の代表的な夏祭りであり、会場内で協賛企業の名前を披露されることは広告効果も大であり、地域活性化に寄与する。	新型コロナウイルス感染症による中止	わんさか祭り（花火大会）協賛企業並びに市内飲食業者等	指標	来場者数 (達成度 - %)			指標	(達成度 %)			新型コロナウイルス感染症による中止	総合評価	-	事業評価側	自己評価	調査結果	事業者への	満足度	補足	目標①	目標②	新型コロナウイルス感染症による中止
				目標数値	-	実績数値	-	目標数値	実績数値	-	-					必要性			実施方法①		実施方法②	廃止	
人材育成事業（新開発マネジメント事業）	刈谷市からの委託事業である「中小企業新開発マネジメント事業」においては、様々な分野の専門家を招聘して、実務的な講習会を開催するほか、窓口相談、企業訪問指導を実施し、モノづくり企業の経営支援体制を強化する。	・「刈谷モノづくり大学」専門家派遣による指導、相談 ・社内研修会の実施（参加事業所数：58社）	管内中小・小規模事業者等	指標	参加事業所数 (達成度 116.0 %)			指標	(達成度 %)			「刈谷モノづくり大学」ではオンラインによる専門家の派遣を通じて、企業の課題解決に寄与するとともに、社内研修を通じて人材育成に貢献することができた。	総合評価	A	事業評価側	自己評価	調査結果	事業者への	満足度	補足	目標①	目標②	今後も引き続き企業の経営課題解決提案を目的に、新開発マネジメント事業を行う。
				目標数値	50	実績数値	58	目標数値	実績数値	A	A					必要性			実施方法①		実施方法②	現行どおり	
人材育成事業（検定等支援事業）	商工会議所が実施する検定試験は「商工会議所法」に基づき全国統一の基準で実施する「公的試験」であり、ビジネスに直結する知識やスキルを重視しており、企業が必要とする人材の育成を目的に実施する。	・日本商工会議所検定試験（珠算2回、簿記2回、リテールマーケティング2回） ・東京商工会議所検定試験（福祉住環境コーディネーター1回、カラーコーディネーター1回、ビジネス実務法務1回、e-c-o-l 1回、ビジネスマネジャー1回）（開催回数合計11回）	検定受験申込者	指標	開催回数合計 (達成度 100.0 %)			指標	(達成度 %)			各種検定試験を開催することにより、企業が求める人材の知識習得やスキルの向上に資することができた。	総合評価	A	事業評価側	自己評価	調査結果	事業者への	満足度	補足	目標①	目標②	今後も引き続き企業が求める人材の知識習得やスキルの向上を目的に、検定等支援事業を行う。
				目標数値	11	実績数値	11	目標数値	実績数値	A	A					必要性			実施方法①		実施方法②	現行どおり	
調査・広報事業	LOBO調査とは早期景気観測の略称で、各地域の「肌で感じる足元の景気感」を全国ベースで毎月調査し、景気対策等に関する意見として活用する。「刈谷あきない倶楽部」は、会員事業所の独自の製品・サービスを紹介することにより営業活動の一助とする。	・LOBO調査（調査回数：12回） ・ホームページ「刈谷あきない倶楽部」、会報、ホームページ等作成	管内中小・小規模事業者等	指標	調査回数 (達成度 100.0 %)			指標	(達成度 %)			LOBO調査は、地域の中小企業等が感じる景況を把握し、会議所事業に役立ち、刈谷あきない倶楽部では、参加店の営業活動の一助となることができた。	総合評価	A	事業評価側	自己評価	調査結果	事業者への	満足度	補足	目標①	目標②	今後も引き続き中小企業の景況把握等を目的に、調査・広報事業を行う。
				目標数値	12	実績数値	12	目標数値	実績数値	A	A					必要性			実施方法①		実施方法②	現行どおり	

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付すこと。